



別海町立中春別中学校



学校だより

令和4年3月24日 発行 校長 岩崎 撰也

## 幸せを感じる力

校長 岩崎 撰也

春の嵐のような天候もあり、例年より多くの雪が未だ消えずに残っておりますが、陽射しの明るさは確実に新しい季節の到来を予感させてくれます。全国各地に発令されていたまん延防止等重点措置が21日で解除され、学校においても感染対策や運動不足の身体を気遣いながら部活動を再開するなど、普段の学校生活を取り戻しつつあります。

さて、3月10日（木）に第55回卒業式を挙行了しました。新型コロナウイルスの影響で昨年に引き続き、感染防止対策として参加者を極力限定した形で式を行いました。こうした中での卒業式ですが、11名の卒業生たちの卒業証書を受け取る凜とした姿には、この中春別中学校で最上級生として皆の手本となり、リーダーとして頑張ってきたことへの自信と誇りが表れていました。

卒業生とは二年間のつきあいですが、仲間を思う優しさや思いやりを持った生徒たちだということ、ともに過ごす学校生活の中で随所に感じました。式辞の中では、これから新たなステージに進む卒業生に「幸せを感じる力」ということを話しました。「幸せ」かどうかは自分次第、今の自分にある幸せに気づいて、感謝できることが人生を豊かに生きることにつながります。不平不満ばかりでなく、自分のまわりにあるささいなことや、今日の卒業式のようにまわりにいて祝福してくれる家族や友達、今日まで支えてくれた先生方への感謝の気持ちを忘れず、ちょっとしたことで満足、幸せだと感じることでできる人になってほしい。そして失敗を恐れず、真正面から人生を切り開き、周りの人を幸せにしてほしい。こんな思いを伝えました。4月から始まる新しい学校生活に失敗を恐れずチャレンジして、11人の卒業生一人ひとりが幸せな人生を歩むことを心から願っています。

また、在校生にとっても本日は一年間の課程を修了し、次の学年への希望を抱く修了式となりました。一言で一年の終わりと言っても、生徒たち一人ひとりにとって決して平坦なものではなく、自分の思い通りにいかなくて苦労することもあったと思います。生徒たちはその一つ一つを乗り越えて確かな成長を遂げてきました。年度の節目にお子様と一緒にこの一年の頑張りを振り返る機会としていただくようお願いします。

明日から春休みに入ります。生徒の皆さんも新たなスタートに備えて生活のリズムを崩さず、この期間を過ごしてほしいと思います。新学期、元気な姿の皆さんと会えることを先生方みんな楽しみしています。

